

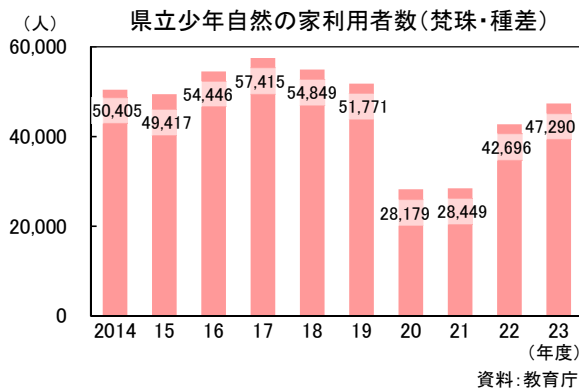
施策2

グローバル社会への対応と主体的に社会に参画する学びの推進

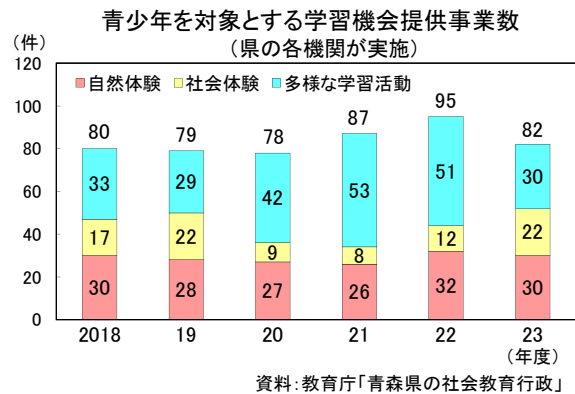
■2023(令和5)年度の主な取組・成果

- 小・中学校でのエネルギー教育支援、県立学校における地域の魅力を知り、地域との連携により活性化を目指す取組、少年自然の家などにおける自然体験プログラムの提供など、地域資源を活用した体験型学習・課題解決型学習の充実に取り組むことにより、本県の歴史・文化、自然や産業の持つ魅力への理解促進及び児童生徒の夢の実現に向かう姿勢の向上が図られました。
- 県立高等学校において、台湾の高級中学等との派遣受入事業での対面交流やオンラインによる協働学習の実施、済州国際青少年フォーラムへのオンライン参加などにより、高校生の国際交流などへの意識の向上が図られました。
- 高校生の県内定着促進や、持続可能な青森県を創造できる人財の育成に向けて、地域人財や資源を活用して、高校所在地域及び自身の居住地域等について理解を深める学習「あおもり創造学」を全ての県立高等学校（課程別55校）で取り組み、ふるさとに貢献する意識の醸成につながりました。

■施策の現状を表す指標の動向等

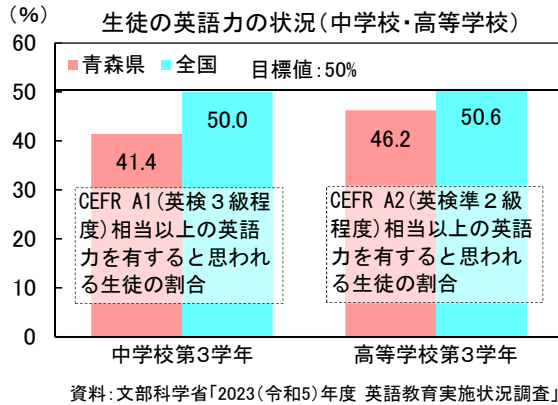


新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少した少年自然の家利用者数は、影響前に戻りつつあります。

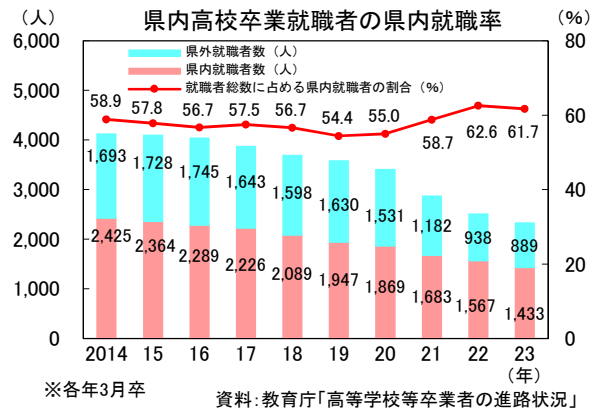


県の各機関が行う青少年を対象とする学習機会の提供事業数は、2021年度から増加傾向にありましたが、2023年度は減少しています。

2 グローバル社会への対応と主体的に社会に参画する学びの推進



生徒の英語力の状況は、中学校第3学年、高等学校第3学年ともに全国平均を下回っています。



高等学校卒業就職者の県内就職率は、2020年3月卒以降上昇傾向にあります。

■主な課題と今後の取組の方向性

主な課題	今後の取組の方向性
英語コミュニケーション能力の向上のため、技能統合型指導を取り入れた授業を実施するほか、短期の留学や海外研修、海外との協働学習等により、生徒の国際理解や相互交流の意欲を高めていく必要があります。	国際バカロレアの理念に基づく教育プログラムの開発・普及に取り組むほか、オンラインも活用した台湾との教育交流を引き続き推進します。
本県の最重要課題である人口減少克服に向けて、高校生が学校の所在する地域や自らが居住する地域について理解を深め、積極的に発信する学習活動を進めていく必要があります。	全ての県立高等学校において学校が所在する地域や自らが居住する地域に関する学習「あおり創造学」や、企業等と連携した体験学習等により、郷土理解を深め、地域に対する貢献意欲の向上を図ります。また、取組の成果を小・中学校及び地域に発信します。
子どもたちのふるさとへの理解や愛着を深めるため、社会教育施設においても、学習指導要領に対応し、学校の授業において活用できる多様な学習・体験プログラムの開発を進め、体験活動の更なる充実を図る必要があります。	少年自然の家などの社会教育施設において、地域資源を活用した多様な学習・体験活動の充実を図ります。 また、教育課程への位置付けを意識した体験活動プログラムの検討・開発を進め、学校が積極的に少年自然の家を利用する環境整備を進めます。

主な課題	今後の取組の方向性
<p>実践的かつ発達段階に応じた系統的な防災教育の充実が求められており、高等学校段階では、安全で安心な社会づくりに貢献できる生徒の育成が必要です。</p>	<p>防災教育を推進する教職員の資質向上を図るための視察研修や、外部講師や出前講座を活用した防災教育を行うとともに、その取組を記録集にまとめ、周知を図ります。</p>

(参考) 2023(令和5)年度における県教育委員会の主な事業の取組状況

1 エネルギーに関する教育支援事業費補助【学校教育課】 1,750千円

<p>取組状況</p>	<p>小・中学校におけるエネルギー教育の充実を目的に、学校の特色、児童生徒の興味・関心に基づき、主に理科、総合的な学習の時間などを活用し、学習指導要領の趣旨に沿って体験的な学習を行った平川市ほか3町に補助金を交付した。</p> <p>県立高等学校においては、百石高等学校ほか2校が本事業によりエネルギーについて理解を深める学習を実施した。</p> <p>取組を通じて、児童生徒が、身近な問題としてエネルギー問題を捉えるなど、自ら考え判断する力の育成が図られた。</p>
-------------	--

2 持続可能な地域づくり「あおもり創造学」プロジェクト事業【学校教育課】

58,607千円

<p>取組状況</p>	<p>全ての県立高等学校において、高校生の県内定着促進や、持続可能な青森県を創造できる人財の育成に向けて、地域資源や人財を活用して、高校の所在地域及び自身の居住地等について理解を深める学習「あおもり創造学」に取り組み、地域課題の解決等の研究をとおして、ふるさとに貢献する意識の醸成につながった。また、県立高等学校12校に就職支援員を配置し、生徒との進路相談や県内求人開拓等を行った。</p>
-------------	---

3 ドリカム人づくり推進事業【学校教育課】 7,192千円

<p>取組状況</p>	<p>児童生徒の夢の実現に向けて、児童生徒のアイデアを取り入れ、向上心や積極的に学ぶ意欲などチャレンジする心を育む取組の推進校として、県立学校18校を指定し、地域活性化やものづくり、交流活動等を企画・実施し、特色ある学校づくりや生徒一人一人の豊かな人間性を育むことにつながった。</p>
-------------	---

2 グローバル社会への対応と主体的に社会に参画する学びの推進

4 青森から世界へ向かってチャレンジするグローバル人財育成事業【学校教育課】

18,813千円

取組状況	派遣受入事業での対面交流やオンラインによる台湾の高級職業学校や高級中学との産業やビジネス等に関する協働学習を16校（参加者数1,376人）が実施し、グローバルな視野と感覚を身に付けられるよう取り組んだ。
------	---

5 青森ビジネスチャレンジwith台湾事業【学校教育課】 8,108千円

取組状況	販売実践の機会として「台湾祭」を開催（参加生徒数210人）するとともに、台湾での販売実践（参加生徒数20人）を行い、国内外でビジネスを展開するノウハウを身に付けるとともに、世界にチャレンジする意欲の向上につながった。
------	--

6 国際バカロレア認定支援事業【学校教育課】 2,834千円

取組状況	世界に通用する論理的思考や表現力、コミュニケーション能力等を身に付ける国際バカロレア（IB）教育を青森南高等学校に導入するため、IB候補校の認定に向けた科目別ワークショップを11人の教員が受講した。
------	---

7 語学指導を行う外国青年招致事業【学校教育課】 8,840千円

取組状況	県立高等学校等で語学指導を行う外国青年を28人任用し、異文化理解の促進や国際性豊かな人財の育成を図った。
------	--

8 青少年教育施設主催（少年自然の家管理運営）事業【生涯学習課】 3,571千円

取組状況	各種主催事業（参加者数3,398人）及び活動支援事業等を実施（参加者数15,527人）し、自然を体験する場を提供したことにより、体験活動の拡充を図った。（梵珠少年自然の家・種差少年自然の家）
------	---

9 命を守る！防災教育推進事業【スポーツ健康課】 2,139千円

取組状況	<p>児童生徒が自然災害発生時に適切に対応できる資質・能力の向上を図るため、小・中学校の研究指定校の実践事例を普及させる成果発表会を開催するとともに、実践事例集を作成し、県内全ての小・中学校へ配布した。</p> <p>また、学校防災リーダー養成研修会を西北・上北の2地区で開催（参加者数85人）し、学校防災の中核となる教員の資質向上を図った。</p>
------	---

10 小・中学校外国語教育充実支援事業【学校教育課】 595千円 （施策1に掲載）

11 北海道・東北ブロック民俗芸能大会【文化財保護課】 537千円 （施策9に掲載）

- 12 こども民俗芸能大会【文化財保護課】 3,849千円 (施策9に掲載)
- 13 小学生による縄文遺跡と地域の文化財体験事業【文化財保護課】 1,087千円 (施策9に掲載)
- 14 郷土館運営管理事業【文化財保護課】 83,120千円 (施策9に掲載)